

施策番号	0501		
施策名	生活安全（防犯・事故防止）の推進		
概要	関係機関との連携を強化しながら、防犯のための啓発や環境づくり、交通安全のルールやマナーの啓発を行うとともに、地域における防犯・事故防止の取組を支援する。		
担当局・部室	文化市民局・くらし安全推進部	共管局・部室	
上位政策	5 市民生活の安全		
施策に関する主な分野別計画等	生活安全（防犯・事故防止）基本計画		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 交通事故による死者数（人）	a	a	15	31	23人以下	65.2%	b	1.00
2 交通事故による死傷者数(人)	a	a	4,552	3,804	5,537人以下	131.3%	a	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>客観指標総合評価</b>	<b>a</b>	<b>a</b>					<b>a</b>	

#### 2 市民生活実感評価

設問	平成30年度	令和元年度							令和2年度※
		評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	c	c	42 6.2%	197 29.2%	269 39.9%	101 15.0%	66 9.8%	675	-
2 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。	c	c	53 7.7%	271 39.3%	234 33.9%	78 11.3%	54 7.8%	690	-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
<b>市民生活実感調査総合評価</b>	<b>c</b>	<b>c</b>							<b>-</b>

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	「交通事故の死者数」などの客観指標の数値よりも、市民が安全を実感した「体感治安」の向上の方がより安全対策の効果の現れと言えることから、市民の実感に重みを置くこととする。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- c評価以下であり、次の原因が考えられる。
  - ・「犯罪発生（刑法犯）認知件数」や「交通事故による死（傷）者数」が着実に減少しているにも関わらず、犯罪や事故に関するニュースが日常的に報道されており、犯罪や事故が身近に起こりうるという感覚があることから、体感治安が改善せず、c評価以下となったと考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・地域住民、区役所、警察署等で構成する学区・元学区単位の「安心安全ネットワーク」を対象に、補助事業や防犯活動で用いる物品の貸出しなどを行い、防犯をはじめとする自主的な活動の継続を支援する。
- ・「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」における取組の指針となる「全市版運動プログラム」に基づき、各行政区単位で、市民、区役所・支所、警察署等からなる区推進組織を中心に、「区版運動プログラム」により取組を進めるとともに、全市的な取組として、防犯カメラ設置促進補助事業等を進める。
- ・こうした事業により、課題となっている「体感治安」の向上を図る。

施策名	0501	生活安全（防犯・事故防止）の推進
-----	------	------------------

指標名	交通事故による死者数（人）
-----	---------------

担当課	くらし安全推進課	連絡先	222-3193
-----	----------	-----	----------

### 1 指標の説明

交通事故発生から24時間以内の死者数

### 2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

### 3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	平成30年	令和元年		数値	根拠	
数値	15	31	16人増	23人以下	第2次生活安全基本計画（改定版）における令和2年度の目標値（20人以下）から、各年度の目標値を等差的に算出	65.2%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
-	-	20人以下	令和2年度	45.0%	第2次生活安全基本計画（改定版）

### 5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上～80%未満  
c：40%以上～60%未満  
d：20%以上～40%未満  
e：20%未満

### 6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価  
・以下20%刻みでb～e評価

### 7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	b

指標名	交通事故による死傷者数（人）
-----	----------------

担当課	くらし安全推進課	連絡先	222-3193
-----	----------	-----	----------

### 1 指標の説明

交通事故によって負傷し、治療を要する者の数（交通事故発生から24時間以内の死者数を含む。）

### 2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

### 3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	平成30年	令和元年		数値	根拠	
数値	4,552	3,804	748人減	5,537人以下	第2次生活安全基本計画（改定版）における令和2年度の目標値（5,200人以下）から、各年度の目標を等差的に算出	131.3%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
-	-	5,200人以下	令和2年度	126.8%	第2次生活安全基本計画（改定版）

### 5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上～80%未満  
c：40%以上～60%未満  
d：20%以上～40%未満  
e：20%未満

### 6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価  
・以下20%刻みでb～e評価

### 7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a